

事業所における自己評価結果（公表）

【児童発達支援】

公表： 令和4年3月10日

事業所名：ミニョンヌアリス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		療育室、遊戯室を設けており、人数を調整しながら小集団や個別の活動を実施しています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		子どもの行動面の特性や自立性などを考慮し、配置する職員数を調整しています。	今後も利用者数や活動内容に応じて職員配置の調整を行い、お子さまが安心して楽しく過ごせる環境を設定していきたいと思います。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		片付けや自分の物品の管理を意識しやすいよう配慮しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		換気や定時の消毒などを徹底して行っています。	新型コロナウイルス予防の為、引き続き定時消毒の徹底に努めていきたいと思います。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		療育前後のミーティングの時間を設けて、全職員が意見を出しながら目標を決めたり、振り返りができるように努めています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		毎年、自己評価を実施し、ホームページにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			鹿児島県、市の指導監査という形で外部評価を受け、適正に運営されていると回答を頂いています。指摘事項等があった際は改善に努めています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		新型コロナウイルスの感染対策により対面での研修は控えさせていただきました。	来年度は新型コロナウイルスの流行に影響されず、職員が研修を受けられるよう努めていきたいと考えています。
適切	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		個別支援計画作成においては児童発達支援管理責任者が日々のお子様の様子や保護者からの聞き取り、発達検査結果、サービス等利用計画等から、今後の支援方法について話し合っ作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			公認心理士による発達検査を実施しています。保護者へのフィードバックの方法について検討を重ねています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援計画作成時には個別支援会議を実施し、関わる職員全員で意見を出し合いお子様の実態に応じた支援を検討しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		活動前後のミーティングで、個別支援計画に沿った支援方法の伝達を行い、職員間で情報共有しています。	

ツな 支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎月のプログラムについては保育士や専門職（公認心理師、作業療法士）の意見を取り入れながら作成しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		月ごとに担当を変更し、プログラムが固定化しないよう配慮しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		療育前後のミーティングを必ず行っています。	ミーティングの時間帯が合わないスタッフがいるため、全員の意見を聞けるよう設定の仕方を検討していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育前後のミーティングを必ず行っています。	ミーティングの時間帯が合わないスタッフがいるため、全員の意見を聞けるよう設定の仕方を検討していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用時のお子様の様子について、毎日必ず個別台帳へ記録を残しています。記録はファイルに個別でまとめ、いつでも閲覧できるようにしており、活動内容や支援方法の改善に努めています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		複数の支援者による多角的な視点の意見を基にモニタリングの必要性を判断しています。	
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		地域の保健師の方と必要に応じて直接連絡を取る等連携を図っています。	
23		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			
24		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			保護者への聞き取りや意見書をもとに支援をさせていただくことが多いですが、今後は主治医など医療機関との連携も図れるようにしていきたいと思えます。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		連絡会を設定し、成長がみられる点や集団生活での課題点など情報の共有を図っています。	
26		移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		毎年春休み中に移行支援シートをもとに支援経過を伝達する機会を設定しています。	
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		事業所で公開療育を実施し、他事業所で行われている公開療育へも参加しています。また、関係機関で開催される研修会へも積極的に参加しています。	新型コロナの感染拡大により研修会や連絡会が開催できませんでしたが、関係機関との積極的な情報共有には今後も努めていきます。
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			直接的な交流が難しい状況が続いていますが、併行通園のお子様については今後も幼稚園や保育園等での様子について情報共有を図っていきます。
29		（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	○		鹿児島市の医療的ケア児部会に参加しており情報発信や関係機関と連携を図れるように努めています。	
30		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		幼稚園や保育園、家庭、事業所での様子について保護者と情報を共有できるよう努めています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		ペアレント・トレーニングは実施できていませんが、保護者様からの相談内容については一緒に改善策を検討したり、助言を行なっています。	ペアレントトレーニングについては研修会に参加し専門的に学んだ職員を配置できていない状況ですが今後の課題として取り組みを行っていきたくと考えています。	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に児童発達支援の内容、活動の例、利用料などについて詳しく説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	新型コロナ感染拡大防止の為、保護者会等のイベントは中止いたしました。	今後は状況をみながら必要な感染対策を行いつつ活動を検討していきたいと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		随時、保護者の個別相談、電話相談、事業所内見学などの対応を行っています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		法人の広報誌、事業所のお便り「ミニヨンヌタイムズ」にて活動内容等を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		契約時に保護者に説明、同意を得ています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カード等の視覚支援の活用、視覚や音の刺激に留意した環境調整等、状況に応じた対応に努めています。	送迎時や連絡帳にて情報を共有できるよう配慮していますがまだ十分ではなく、定期的に面談を設定し保護者と更に情報を共有できるよう工夫したいと思います。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ禍のため外部との交流を制限している状況ですが、今後は実施を検討していきます。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		新型コロナウイルスに関する対策を別途作成し、最新の情報、市内の感染状況に応じて、安全な事業所運営に努めました。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月1回、地震や火災などを想定した避難訓練を実施しています。	消防署指導のもと、複数の避難経路の確認や、様々な場面を想定した訓練を今後も実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に服薬状況、病歴等について書面を通じて確認を行っています。	薬の変更などがあった場合速やかに情報をいただけるよう日頃から保護者との情報共有に努めます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に食物アレルギーの確認を行い、アレルギーのあるお子様については医師の指示書の提出を依頼し、指示書の内容について栄養士が確認を行ったうえで食事を提供しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止に関する研修を実施し、虐待防止に向けた意識向上の取り組みを行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		基本的に身体拘束を行う場面はありません。	

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。（該当する方に○を記入）